



かさおか



来年の干支は



『さようなら2023年』

3年余り続いたコロナ禍もやっと抜け出し、「アフターコロナ」へと社会生活も落ち着きを取り戻しています。地球温暖化による様々な影響は、私たちの食生活にも大きな不安を投げかけています。

また、市内各地でイノシシが出没しており、笠岡地区においても山裾の住宅近くに現れるなど付近住民の不安は大きく、行政の手の届かないところで深刻化しているのではと思っています。

さて、地域社会は自助・共助の精神の下、住みやすい町を目指しながら今日に至っており、私共のまちづくり協議会もその一翼を担っています。

「住んで良かった」「これからも住み続けたい」と思える「まちづくり」を目指して、11年余り協議会の活動に取り組んで参りましたが、未だ認知度不足の現状を否めなく、自身の不甲斐なさも痛感しておりますが、まちづくり協議会は住民の皆さん一人ひとりが会員であり、「自分たちの地域を住み良くして行こう」との共通の思いを持って頂き、積極的なご参加とご意見を賜りますようお願い申し上げます。

ところで、今年もイルミネーション設置に向けて各高校では制作が進んでおり、12月16日の点灯式には皆様の温かいご声援をお願いいたします。

終わりに、来年の干支は「甲辰(きのえ・たつ)」成功という芽が成長していき、姿を整えていく」といった縁起のよさを表しているとか。

本当に良い年になって欲しいですね。 会長

行事予定

- ★笠岡小さな映画館プロジェクト
 - 定例映画会 12月3日(日) 午前10時から
- ★駅前コラボin笠岡
 - クリスマスイルミネーション点灯式 12月16日(土)午後5時～
- ★12月29日から1月3日まで 年末年始のため休館します。



『笠岡地区まちづくり協議会』

事務所：笠岡市笠岡2627番地

「井戸会館」内

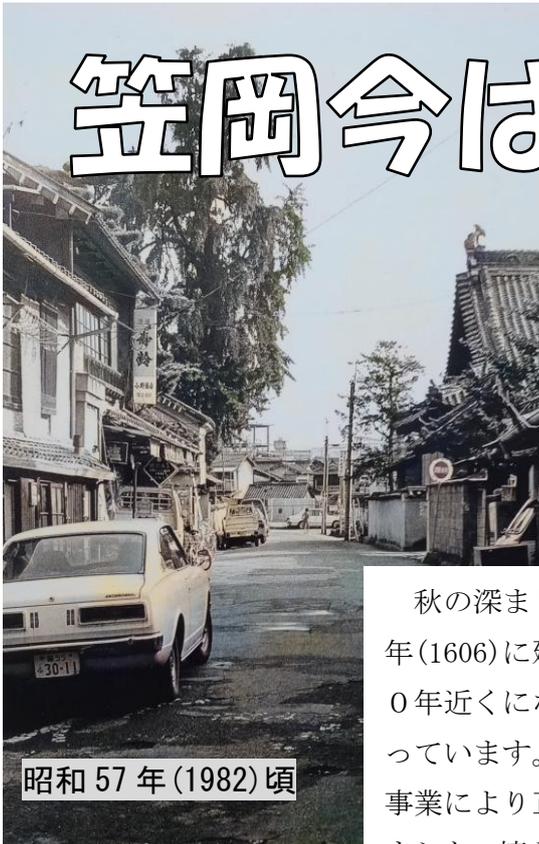
電話：63-5949

Fax：75-0101

E-mail：zukuri2@mx1.kcv.ne.jp

開館日：月・水・金曜日14時～17時

笠岡今はむかし物語



昭和 57 年 (1982) 頃



昭和 40 年 (1965) 頃の遍照寺参道

秋の深まりとともに紅葉が見頃になってきた枝垂れいちょう、慶長 11 年(1606)に建てられた多宝塔の建立記念として植えられ、推定樹齢が 420 年近くになった今も、町のシンボルとして私たちの暮らしを静かに見守っています。左の写真は昭和 57 年頃の遍照寺参道で、駅前土地区画整理事業により正面の仁王門は西の浜に移転し、いちょうの木と多宝塔が残りしました。懐かしい景色の一つではないでしょうか。 写真提供：笠岡市

☆減災のための備えその④ 家具の固定や配置変更で「安全空間」を作る

地震による被害のなかでも、家具類の転倒や落下による負傷者は多く、新潟県中越沖地震で 40.7%、宮城県北部地震で 49.4%という割合でした。

自分や家族の身を守るためにも、家の中に安全な空間を作らなければなりません。家具は倒れる向きを考えて配置し、転倒防止のためにしっかりと家具を固定しておきましょう。特に、寝室や子供部屋、お年寄りのいる部屋は、十分な安全を確保しておきましょう。そして、家具はできるだけ低いものを選び、上に重いものを置かないといった配慮が必要です。



消防署提供:2011 年東日本大震災記録写真



編集後記

2023年最後の会報になりました。一年を振り返ってみると、新型コロナも収束に向かい社会生活も賑わいを取り戻していますが、インフルエンザの流行期に入っており、感染対策を励行して健康な体で新年を迎えましょう。

I・M

いと IDOシネマのご案内

☆第 25 回映画会 12 月 3 日(日)午前 10 時開演(入場無料)

・活弁映画『性は善』

大正 13 年に元帝国キネマ撮影所長であり金光教の信奉者・川口松太郎氏によって制作され、活動弁士の語りと音楽が加わり、約 100 年の時を超えてよみがえります。

・記録映画『性は善』制作ドキュメンタリー

・大谷アーカイブ・北林さんのトークショー